

【高等課程 ディプロマ・ポリシー（卒業時の方針）】

1. 生命の尊さがわかり、個人をかけがえのない存在として尊重した行動をとることができる。
2. 他者を思いやり、相互に尊重しあう心を持ち、誠実な人間関係を形成するためのコミュニケーションを実践することができる。
3. 看護の対象の価値観を尊重し、身体的、精神的、社会的に統合された生活者として捉えることができる。
4. 対象の健康問題に応じて、可能な最善の方法を選択し、日常生活援助を安全・安楽に提供することができる。
5. 保健・医療、福祉における准看護師の役割を認識し、チームの一員として協働することができる。
6. 看護への探求心・向上心を持ち自ら主体的に学び続けることができる。

【高等課程 カリキュラム・ポリシー】

1. 准看護師としての知識・技術・態度を修得するために、3つの科目群「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」とし体系的に編成し、講義・演習、そして臨地実習へと段階的に学習が深められるような授業を展開する。
2. 能動的に学ぶことができるように、特に専門分野の授業ではグループ・ディスカッション、グループワークを中心とするアクティブ・ラーニングを促進し、またグループ間での協調性、倫理的態度、リーダーシップ、リフレクションを積極的に活用し、自己研鑽する態度を身に付けることができるよう編成する。
3. 臨地実習では連携病院と協力し指導を充実することで、臨床において看護技術を介助・実践でき、体験を通して看護技術実践能力の強化に努める。
4. 学修成果の評価は、授業科目のねらいや授業目標に合わせて筆記・技術試験・レポート等で適正な評価を行う。加えて、看護技術や臨地実習においては、ルーブリックを用いて到達度を可視化し、自己教育力を育むとともに総合的な評価を行う。
5. 学修成果の評価および学生自ら授業への取り組みの主観的評価、学生における授業・卒業時アンケートの結果などを活用することで、教育方法の改善につなげる。

【高等課程 アドミッション・ポリシー】

1. 准看護師となって働きたいという明確な意思を持つ人
2. 人に関心を持ち、人との関わりを大切にできる人
3. チームワークを大切にし、高め支え合える関係性を築ける人
4. 他者の意見をよく聴くことができ、かつ自分の意志を相手がわかるように表現できる人
5. 保健・医療・福祉に対して、関心がある人
6. 目標に向かって物事に粘り強く取り組める人
7. 自己の生活を整え、心身共に健康な生活が送れる人